

平成30年度 海洋会横浜支部 事業報告(案)

(一社)海洋会 横浜支部

横浜支部の事業としては、

1. 開催した会議、会合
  2. 実施した事業とその概要(講演会、海事思想普及、他団体との共催事業等)
  3. 会館運営及びその他
- について、以下の通り実施した。

1、開催した会議、会合(総会、委員会、祝賀会、懇親会等の開催日時、開催場所、会の概要)

会名	開催日	出席会員	概要(来賓、同行者等)
(1)支部監査 (1回)	4月5日	3名	監事2名、事務室長
(2)定期総会 (1回)	5月8日	16名	委任状61名
(3)春季懇親会 (1回)	5月8日	30名	関係者 10名(来賓6名、同行者4名)
(4)秋季懇親会 (1回)	10月9日	21名	関係者 7名(来賓5名、同行者2名)
(5)常任委員会 (6回)	4月10日、6月12日、9月11日 11月13日、2月12日、3月13日	42名	
(6)支部委員会 (6回)	4月10日、6月12日、9月11日 11月13日、2月12日、3月13日	124名	
(7)会館運営委員会 (常任委員会と合同)	4月10日、6月12日、9月11日 11月13日、2月12日、3月13日	24名	
(8)忘年会 (1回)	12月11日	27名	関係者 5名(来賓7名)
(9)賀詞交換会 (1回)	1月8日	33名	関係者 7名(来賓6名、同行者1名)
合計	18回	320名	関係者 計29名

2、実施した主要事業とその概要(講演会、研修、調査研究、海事思想普及、他団体との共催事業等の実施日時、場所、所見等テーマ、参加人数、講師、実施要領)

主要事業	実施日又は回数	参加者数	概要
(1)『海の日』前夜祭の共催	7月13日	102名	三団体(海洋会、若葉会、海福協)の共催
(2)講演会の開催	6/12, 9/11, 11/13, 2/11	74名	
4月講演会(4/10) 中止			
6月講演会(6/12) TE14 高田 正彦氏			
9月講演会(9/11) TC3 小峰 史郎氏			
11月講演会(11/13) TMN11 植木 孝太氏			
2月講演会(2/11) TN7 青木 享起氏			
(3)浜水会の支援、協力	火・BBQ大会の予定だったが、		神奈川新聞の花火大会が中止となり、休止
(4)練習船遠洋航海出航式への参加	4月2日	3名	帆船海王丸の出航式(中止)の前に花束贈呈
(5)マリクラブ納涼会の支援	8月28日	70名	関係団体等との交流、懇親
(6)マリクラブ X'mas パーティーの支援	12月17日	80名	"
(7)ビーチクリーニング活動(春)の支援、協力	4月22日	11名	鵜沼海岸、学生との懇親を含む清掃ボランティア活動
(8)横浜港カッターレースの支援、協力	5月20日	10名	東京湾水先人会から審判長、警戒艇が派遣
(9)ビーチクリーニング活動(秋)の支援、協力	9月8日	10名	鵜沼海岸、国際的ビーチクリーン活動と研修
(10)「鷗童会」絵画展の支援、協力	7/10~16, 1/22~27	12名	支部会員を含む文化活動
(11)「帆船日本丸ガイド」の活動	11月~3月末まで休館、開館日183(昨年295)日	401名	帆船日本丸ガイドの会を通じ、帆船日本丸記念財団に協力
(12)「みなとみどりサポーター」への参加(港湾局賑わい振興課に協力)	4/10, 5/8, 6/12, 7/10, 8/14, 9/11 10/9, 11/13, 12/11, 1/8, 2/12, 3/12	14名	5/8, 7/10, 8/14, 12/11, 1/8 は、雨天や懇親会の準備のために中止した。
合計		787名	

3、会館の設置及びその運営

主要事業	日時・場所	概要
(1)会議室活用	3階会議室	浜友会(謡の会)の定期的利用(月2回)があった
(2)会館の撮影等	マリクラブ、会議室	なし

## 平成30年度横浜支部 支部収支決算書(案)

(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

「会計基準対応」に従い、管理費と事業1～9に比率配分される

平成30年3月31日

科 目		予算額	実績	予実差	内 訳
支部 直接 収入	会館使用収入	100,000	144,720	△ 44,720	
	受取利息収入	0	0	0	銀行預金利息
	雑収入	0	0	0	
	本部勘定	422,000	300,000	122,000	本部から送金された資金
<b>収入合計</b>		<b>522,000</b>	<b>444,720</b>	<b>77,280</b>	
支部 直接 支出	福利厚生費	7,000	6,825	175	ネスカフェ、エコ&システムパック(接客用)
	講演会費	30,000	15,000	15,000	講師謝礼 図書券¥5,000x4
	通信運搬費	20,000	18,080	1,920	ハガキ・切手代(電話・FAXは本部処理)
	会議費	140,000	105,550	34,450	年6回の支部委員会と支部総会のお茶代
	旅費交通費	65,000	58,580	6,420	近距離交通費(支部長・常任委員長)
	消耗品費	50,000	5,518	44,482	
	修繕費	30,000	9,763	20,237	
	新聞図書費	40,000	38,268	1,732	神奈川新聞購読 @3,189-
	事務機器修繕費	30,000	0	30,000	
	渉外費	30,000	0	30,000	
雑費(含慶弔費)	40,000	21,240	18,760	ゴミ袋¥6,048x2、シート、椅子カバー洗濯等	
<b>支部 支出合計</b>		<b>482,000</b>	<b>278,824</b>	<b>203,176</b>	(A)
<b>手持資金調整</b>		<b>40,000</b>	<b>203,176</b>	<b>163,176</b>	本部に返却予定(期末残金ゼロとする)
<b>本部勘定収支</b>		<b>40,000</b>	<b>(37,280)</b>	<b>77,280</b>	

《以下 参考》

本部処理された横浜支部活動経費

支部 活動 支出 (本部 支 払分)	PC及び複合機リース料	444,909	444,900	9	ラディックスによる一括管理
	通信運搬費	180,000	189,754	△ 9,754	ラディックスに、PC環境を一括管理
	修繕費			0	
	消耗品費			0	
	本部支払(概算合計)		634,654		(B)

<b>支部活動費の概算</b>	913,478	(A) + (B)
-----------------	---------	-----------

横浜海洋会館の管理・運営関係収支概算

入 家 賃 ど 収	貸室料・アンテナ設置料	9,760,680	9,352,008	408,672	2017/03/24 Wi2 モバイルのアンテナ撤去
	共益費	829,440	829,440	0	光熱水料+掃除0.5+消耗品0.28=485742
	受取地方助成金振替額	198,400	198,400	0	横浜市助成金(9,920,000-初年度H23年16,533)/50年

運 営 費	光熱費(電灯&電力)	167,416	185,038	△ 17,622	海洋会負担分のみ
	水道費(共有部)	6,000	6,000	0	海洋会負担分のみ (定額¥1,000/2月)
	清掃費	603,936	603,936	0	負担割合はセコムに代わって、海洋会5:テナント5
	消耗品費(共有部)	36,993	15,754	21,239	海洋会負担割合を、従来の比率(0.28)で算出
管 理 費	セキュリティ費	285,120	285,120	0	雑費、事業費処理
	修繕費	250,000	17,928	232,072	4/26洗浄タンク排水弁 ¥9180-、6/7 水栓スピンドル¥8,748-
	保守整備(年契約)	207,360	280,260	△ 72,900	追加: 9/05 ルーフドレイン¥3,7800-、12/08 消火器¥35,100-
	什器備品		0	0	
借 税 地 料 他	火災保険料	42,095	0	42,095	
	借地料	2,206,848	2,208,780	△ 1,932	港湾施設使用料¥1,932- 借地料 ¥551,712-x4
	地方税		37,250	△ 37,250	固定資産税¥138,600- 法人税 ¥72,000- (県 ¥50,000- 市 ¥22,000-)
給 与	給料手当	給料	2,280,000	2,280,000	0
		通勤費	341,340	341,340	0
<b>会館運営管理費(概算合計)</b>		<b>6,427,108</b>	<b>6,261,406</b>	<b>165,702</b>	

## 平成31年度 海洋会横浜支部 事業方針(案)

## 海洋会横浜支部

海洋会横浜支部のある横浜は、日本における海事教育及び海事思想普及活動の最重要拠点であり、全国に、海上技術学校4校、海上技術短期大学校3校及び海技大学校の各学校と5隻の大型練習船により組織運営を行っている独立行政法人「海技教育機構」、並びに、昨年、国の重要文化財に指定された帆船日本丸と横浜みなと博物館を管理運営する「公益法人 帆船日本丸記念財団」等が置かれている。

また、横浜周辺に勤務あるいは居住する海洋会会員は、1600余名と多くおられる。

然しながら、近年、会員の高齢化や外航海運に従事する日本人船員の激減等が影響し、当支部活動への会員参加減少傾向が続いている。

かかる諸情勢下、海運・海事関係諸機関・諸団体との連携を図りつつ、昨年、新たに追加された海洋会定款のボランティア活動等を勘察し、会員の幅広い年齢層・退役高齢会員・現役会員の交流と親睦を図り、加えて社会貢献に資するため、次の事業展開を計画する。

1. 支部ボランティア活動として、「帆船日本丸ガイドの会」、「鶴沼ビーチクリーニング活動」、「みなとみどりサポーター活動」等へ支援及び参加する。
2. 支部主催講演会(会員の調査研究、海事関連有識者等の講演会等)を4回程度開催する。
3. 海の日前夜祭、春期及び秋期懇親会、忘年会、新年賀詞交歓会(昼間)等を開催し、支部会員及び近隣海事関係機関及び団体等の親睦と海事関連情報の収集を図る。
4. 横浜市の歴史的建造物に指定されている海洋会館会議室利用を促進するとともに、会館の撮影等に協力し、利用回数の増加を図る。
5. 横浜市都市デザイン室と協議しながら、海洋会館の定期的保安全管理(本部主管)に協力する。

以上

## 平成31年度 横浜支部 事業計画表 (案)

(一社)海洋会 横浜支部

横浜支部に於いて;

- 1、開催する会議等 2、実施する主要行事とその概要(講演会、海事思想普及、他団体との共催事業等)  
3、会館運営及びその他特記事項 に関し、以下の通り実施する。

## 1、開催予定の会議、会合行事(総会、委員会、祝賀会、懇親会等とその開催予定時期)

会 名	開催日	概 要(来賓、同行者等)
(1)支部監査	(年1回) 4月4日	
(2)定期総会	(年1回) 5月7日	
(3)春季懇親会	(年1回) 5月7日	来賓招待
(4)秋季懇親会	(年1回) 10月8日	来賓招待
(5)常任委員会	(年6回) 4月9日、6月11日、9月10日 11月12日、2月11日、3月10日	
(6)支部委員会	(年6回) 4月9日、6月11日、9月10日 11月12日、2月11日、3月10日	
(7)会館運営委員会	(常任委員会と合同) 4月9日、6月11日、9月10日 11月12日、2月11日、3月10日	
(8)忘年会	(年1回) 12月10日	来賓招待
(9)賀詞交換会	(年「1回) 1月7日	来賓招待
合 計		

## 2、計画、実施したい事業項目、及びその概要

事 業 項 目	実施日又は回数	概 要
(1)『海の日』前夜祭の共催	7月12日	三団体(海洋会、若葉会、海福協)の共催
(2)講演会の開催	4/9, 6/11, 9/10, 11/12	4回を予定
(3)浜水会の支援、協力	8月初旬	神奈川新聞花火大会に代わる行事を検討中
(4)練習船遠洋航海出航式への出席	12月8日	日本丸
(5)マリクラブ納涼会に代わる行事の支援	8月下旬	関係団体等との交流、懇親
(6)マリクラブ X'mas パーティーに代わる行事の支援	12月中旬	〃
(7)鶴沼ビーチクリーニング活動(春)	4月21日	学生を含め、清掃ボランティア活動並びに研修
(8)横浜港カッターレースの支援、協力	5月下旬	実行委員長、審判長他役員等の派遣
(9)鶴沼ビーチクリーニング活動(秋)	9月初旬	国際的なビーチクリーンアップ活動並びに研修
(10)「鷗童会」絵画展の支援、協力	7月中旬 1月中旬	支部会員含む文化活動への協力
(11)「帆船日本丸ガイドの会」の活動	帆船日本丸記念財団の休日、及び本船の工事・整備日を除く毎日	帆船日本丸記念財団への協力
(12)「みなとみどりサポーター活動」への参加(港湾局賑わい振興課所管)	4/9, 5/7, 6/11, 7/9, 8/13, 9/10 10/8, 11/12, 12/10, 1/7, 2/11, 3/10	毎月第2火曜日 1500~1600 象の鼻テラス~象の鼻防波堤周辺のゴミを回収する。
合 計		

## 3、その他特記事項

事 業 項 目	場 所	概 要
会議室の有効活用(会員外への貸し出し)	3階会議室	絵画修復のアトリエ、撮影控室等への貸し出し
談話室(旧マリクラブ閉鎖に伴い)の有効活用	3階マリクラブ	マリクラブに代わって、談話室としての活用を推進する
会館の定期的整備	会館壁など	横浜市と相談しながら整備を進める

## 平成31年度 横浜支部 支部補給金要望(案)

## 1 平成31年度横浜支部補給金要望額

科 目	要望額	備 考
福利厚生費	7,000	ネスカフェ エコ&システムパック
講演会費	30,000	講演会4回 会員@5,000x2+非会員@10,000x2
通信運搬費	20,000	切手はがき(電話FAXは本部処理)
会議費	140,000	総会・委員会のお茶代等
旅費交通費	65,000	支部長、常任委員長、事務室長
消耗品費	50,000	文房具その他
修繕費	30,000	電球、水漏れ等
新聞図書費	40,000	神奈川新聞購読料
光熱水料	0	本部処理
清掃費	0	本部契約
事務機器修繕費	30,000	PC及びIT機器の修理
渉外費	30,000	練習船に花束贈呈、地域団体との折衝
雑費(含慶弔費)	40,000	ゴミ袋、カバー洗濯
合 計	482,000	
前年配布額	482,000	
対前年度額	0	

## 2 平成31年度本部勘定予算額

科 目	金 額	
PC及び複合機リース	444,909	
通信運搬費	180,000	セキュリティ、保守整備費
会館運営費	800,000	光熱水料、掃除費、共有部消耗品
会館管理費	700,000	セキュリティ、保守整備費など
税他・借地料	2,500,000	
火災保険料	42,095	
給与	2,280,000	
通勤定期代	341,340	
合計	7,288,344	
平成29年度予算	7,288,344	
対前年度額	△ 0	

一般社団法人 海洋会横浜支部(平成29～30年度)役員・委員候補(案)

役員		5名		X		常支講	
NO	役職名	クラス	氏名	勤務先 / 活動先	会員番号		
1	支部長	T N 14	河原 健		13904	1	
2	相談役	清 N 2	栗原 恒夫		09745		
3	"	T N 8	安田 岩男	日本丸	12498	1	
4	"	T N 14	斎藤 徹郎		15788		
5	顧問	清 E 2	川崎 景章		16356		

常任委員 15名

NO	役職名	クラス	氏名	勤務先 / 活動先	会員番号		
6	委員長	T N 18	田島 波留生	郵船クルーズ	14880	1	
7	委員	T E 13	大矢 寿郎	大矢海技士事務所	13686	1	
8	"	T E 15	宮澤 勇夫	日本丸、明治丸	14203	1	
9	"	T N 15	神谷 洋一郎	海洋会 横浜事務室長	14134	1	
10	"	T N 16	清原 久和	明治丸、ビーチ	14314		
11	"	T N 16	長塚 正敏	東京湾水先人会	14327		
12	"	K N 14	田根 一美	日本港湾タグ事業協会	14660		
13	"	T N 18	中下 三郎	東京湾水先人会	19556		
14	"	T N 21	飯田 敏夫	帆船日本丸記念財団	16315		
15	"	T N 23	勝見 平八郎	東京湾水先人会	15314		
16	"	K E 26	久門 明人	海技教育機構	23778		
17	"	T N 26	今井 明男	(株)ダイトコーポレーション	15807	1	
18	"	T E 29	長友 友安	海洋興業(株)	16729	1	
19	"	T E 31	中野 弘隆	ソニー生命保険(株)	21166		
20	"	T N 33	飯沼 秀樹	(株)商船三井	17450		
21	支部委員	T N 3	北沢 昌永	日本丸、明治丸、ビーチ	11300		X
22	"	T N 6	渡部 亨	協栄マリン(株)	11940		
23	"	T N 6	大野 隆司		11910		
25	"	T N 9	大本 直宏	日本丸	12678		
26	"	T E 9	山下 秀夫		12777		1
27	"	T N 10	林 作治	日本丸、明治丸	12937		1
28	"	T N 10	宮原 哲		12947		
29	"	T N 10	藤野 修二郎		12944		X
30	"	T N 11	望月 二郎	日本丸、明治丸	13161		1
31	"	T N 12	富川 康文		13402		
		T N 13	福永 昭一				1
32	"	T N 17	小島 茂		13919		
33	"	T E 14	瀬戸 明		14115		
34	"	T N 15	角田 昌男	日本丸	23780		1
35	"	K N 12	大西 典一	日本丸	14211		X
36	"	K N 12	高石 勝		14223		1
37	"	K N 12	川瀬 正彦	日本丸	24310		
38	"	T E 17	古市 初夫	日本丸、明治丸	14629		
39	"	K N 14	乾 明夫	東京湾水先人会	14728		
40	"	T N 18	古田 幸信	東京湾水先人会	14763		
41	"	K N 15	筒井 哲	東京湾水先人会	14845		
42	"	K N 16	中植 清		18455		
43	"	K E 16	山谷 周二		15172		X
44	"	K E 16	脇屋 伯英	日本郵船歴史博物館	14970		
45	"	T E 22	掛谷 茂	モコスジャパン	21137		
46	"	T E 22	光延 秀夫	(一財)日本船舶職員養成協会	15264		

支部委員 41 名

NO	役職名	クラス	氏名	勤務先 / 活動先	会員番号
21	支部委員	# N 3	北沢 昌永	日本丸、明治丸、ビーチ	11300
22	"	T N 6	渡部 亨	協栄マリン(株)	11940
23	"	T N 6	大野 隆司		11910
24	"	T N 7	青木 享起		12167
25	"	T N 8	立石 健三		12777
26	"	T N 9	大本 直宏	日本丸	12777
27	"	T E 9	山下 秀夫		12937
28	"	T N 10	林 作治	日本丸、明治丸	12947
29	"	T N 10	宮原 哲		12944
30	"	T N 10	藤野 修二郎		13161
31	"	T N 11	望月 二郎	日本丸、明治丸	13402
32	"	T N 13	福永 昭一		13661
33	"	T E 14	瀬戸 明	日本丸	14115
34	"	T N 15	角田 昌男	日本丸	23780
35	"	K N 12	大西 典一	日本丸	14211
36	"	K N 12	高石 勝	東京湾水先人会	14223
37	"	K N 12	川瀬 正彦	日本丸	24310
38	"	T E 17	古市 初夫	日本丸、明治丸	14629
39	"	K N 14	乾 明夫	東京湾水先人会	14728
40	"	T N 18	古田 幸信	東京湾水先人会	14763
42	"	T E 17	七田 央		18455
43	"	K E 16	山谷 周二		15172
44	"	K E 16	脇屋 伯英		14970
45	"	T E 22	掛谷 茂	日本船舶機関士協会	21137
46	"	T E 22	光延 秀夫	(一財)日本船舶職員養成協会	15264
47	"	T N 23	井上 一規		15309
48	"	K E 20	狭間 満雄		15383
49	"	K N 21	安達 直	東京汽船(株)	15592
50	"	K E 21	引間 俊雄	海技教育機構	15580
51	"	T N 25	奥田 浩一郎	日本郵船(株)	15715
52	"	K E 24	若林 庸夫	神奈川県立海洋科学高校	16265
53	"	T N 28	大村 達也	(株)タイトコーポレーション	16422
54	"	K N 27	大藤 高広	海技教育機構	15591
54	"	T C 3	小峰 史郎	ブルーイノベーション	15591
55	"	T E 31	飯島 伸雄	海技教育機構	16816
56	"	T N 32	竹内 俊明	(株)国際海事検定社	17138
57	"	T N 32	乾 真	海技教育機構	17127
58	"	T N 35	白石 道也	日本郵船(株)	17999
59	"	T E 38	守屋 健一	(株)第一損害保険センター	18891
60	"	T E 38	垣野 友章	キャリアートランシコールド	18859
61	"	T N 40	飯田 洋司	日本郵船(株)	19654
	総数	61 名			